

アジア太平洋研発第147号
令和2年12月16日

各 位

一般財団法人アジア太平洋研究所
所 長 宮 原 秀 夫
代表理事 岩 野 宏

APIRポストコロナ・オンラインセミナー(第2回)

「財政の現状と課題、コロナ後の再建に向けて」

前略 APIR ではウィズコロナ、アフターコロナ時代の社会や経済の変容について考えるシリーズ形式のオンラインセミナーを開催しています。前回のセミナーでは、コロナ禍を受けた個人の働き方や組織のあり方について考える内容と致しましたが、今回は財政をテーマとし、コロナ感染対策のための緊急財政出動による公債残高の累増など、財政の現状と課題、コロナ後の再建に向けての方策について解説する内容と致します

とりわけ今回のコロナ禍は我々の社会生活や経済活動に多大な影響を及ぼし、雇用維持や企業の資金繰り支援などの緊急対策、さらには経済回復や成長軌道への回帰にあたっての短期・中長期の課題と政策ニーズが山積しています。その政策実現の下支えとなる財政について、慶應義塾大学経済学部教授の土居丈朗氏を講師にお招きし、参加者の皆様とともに考えて参りたいと思います。

APIR 会員企業のみならず、及び一般の方に広くご参加いただければ幸いです。

草々

記

日 時 令和3年1月27日(水) 15:00~16:30

開催形式 オンラインセミナー (Zoomウェビナーによる配信)

次 第

・挨拶 セミナー趣旨説明

・講演<テーマ>「財政の現状と課題、コロナ後の再建に向けて」

<講 師>慶應義塾大学経済学部教授 兼 東京財団政策研究所上席研究員 土居丈朗氏

略歴：1970年生まれ。1993年大阪大学経済学部卒業。1999年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了(経済学博士)。慶應義塾大学経済学部准教授等を経て、2009年4月より現職。政府の税制調査会委員、社会保障制度改革推進会議委員も兼務。2018年11月より東京財団政策研究所上席研究員も務め、政策提言を活発に行う。

主な著作：「入門 | 財政学」、「入門 | 公共経済学」(日本評論社/単著)

「平成の経済政策はどう決められたか」(中央公論社/編著)他

コラム「岐路に立つ日本の財政」を東洋経済オンラインにて連載中

<https://toyokeizai.net/category/kiro-zaisei>

・質疑応答

■締め切り 1月22日(金)

■参加費 無 料

■定 員 100名(定員になり次第締め切ります)

■申込方法 APIRホームページ (<https://www.apir.or.jp/event/>) よりお申し込み下さい。

追って、事務局よりセミナー情報(URL、パスワード等)をご登録いただきました個人メールアドレス(代理アドレス不可)にお知らせいたします。

以 上

【ご連絡先】TEL:06-6485-7692 FAX:06-6485-7689 e-mail: kouenkai@apir.or.jp
(担当:中山、長谷川、松尾、藤田)